

# びんご経済レポート

<http://keizai-report.com/web/>

有限会社入江豊三郎本店 代表取締役

## 入江 孝子さん

人。この【人】に聞く

### PICK UP

啓文社コア福山西店がリニューアルオープン  
福山ニューキャッスルホテルがテイクアウト商品発売中  
「海と山のアート回廊」で観光客がにぎわう  
(株)ププレひまわりが第34期方針発表会・懇親会を開催

2017

11|20

No.2004

600yen

(本体価格 556円)

おかげさまで

55

周年

次世代へ託す温故知新

大切に伝えていくもの・新しく変えていくもの

温故知新



温故知新 大塚幸子 著

# この「人」に聞く

有限会社入江豊三郎本店

代表取締役

## 入江 孝子氏



大切に伝えていくもの・新しく変えていくもの  
次世代へ託す温故知新

創業131年目を迎える鞆の浦の保命酒醸造元の入江孝子さんは、5代目の代表を務めて14年目となる。「先代の社長の突然の死を悲しむ間もなく代表を引き継ぎ、その『生きざま』を次世代へ伝える覚悟をしなくてはならなかった」と当時を振り返る。

「保命酒」は、命を保つ酒として16種類の薬味が入っている江戸時代に生まれた伝統酒だ。歴史ある本店の建物は、江戸時代の風情を現代に残し伝えていく貫禄と威厳に満ちている。「保命酒と町の歴史とともに、港町・鞆の浦の特色を多くの人に知っていただきたい」という入江代表。

静かに語るその眼に、鞆の浦の歴史と行き交う人々の移り変わりがどのように見えているか、若い世代へ何を託すのか伺った。

### 先代の生きざまについて

私は小さいころから、父の背中を見て育ち、商売というものを身近に感じていました。先代の社長が引き継ぎ、伝統ある社屋や門外不出の製造方法など大切に守り続けてくれました。古いしきたりですが、保命酒の仕込みをするのは、毎年4月第一週目の大安の日と今でも決まっています。昔から火などを使うので命懸けの仕事でもありましたから、縁起担ぎという意味もあったのだと思います。昔からのしきたりは守りながら、職場環境は、少しずつ働きやすいように工夫して、変えていきました。

また先代は「商べ」は「飽きな」という意味もあり、毎日こつこつ続けていくことと、一つ一つ丁寧に仕上げるのが大切だと常々申しており

### 保命酒の歴史

ました。私はそれを次世代へつないでいく役目があるのです。若い世代の意見も取り入れて、新商品の開発にも取り組んでいます。

鞆の浦の保命酒はおよそ360年前の江戸時代に、大阪の漢方医の子息であった中村吉兵衛さんが、鞆の浦で造っていた酒に薬味を漬けて込んで売ったことに始まります。

江戸時代は、医者も薬も少なかったため、薬味をアルコールに漬けて飲むと血管に吸収され、体の隅々まで行き渡るといふことで、今という点滴や注射代わりのように飲まれていたそうです。中には高麗ニンジンや甘草、桂皮など16種類の薬味が溶け込ん





でいます。健康維持にも美容にもよく、食事前や寝る前に飲むと体が温まります。

瀬戸内海の中央に位置する鞆港は北前船の寄港地として、多くの人が行き交い、文化や産業が発展しました。保命酒は福山藩の庇護を受け、備後の特産品として全国各地へ流通していったのです。江戸時代に鞆の浦を訪れた朝鮮通信使や、幕末に一時失脚して京都から逃れた公卿・三条美美の二行も、保命酒の詩文を残しています。またほかの清酒よりも格上の扱いとされ備前焼の献上徳利に詰められ

藩の御用酒として高貴な方々への贈答品として使われました。皆さんがよくご存知のペリー提督にも、日米和親条約の締結後に振舞われたといわれています。このころには全国的に名が知れ渡っていました。明治時代には、パリの国際万博にも出展されました。

このような歴史的な場面に保命酒が登場していただきました。それを知って味わっていただくとともに深みが増してきます。

### 新しい試み

新商品は、若手を中心にしたミーティングなどで話し合つて開発しています。保命酒とはちみつにシナモンを加えた「鞆の浦サイダー」(210円)は、保命酒をもっと身近に飲んでいただきたいという思いで作りました。

また保命酒と仙酔島の天然海水塩を使用した「鯛塩ラーメン」も販売しています。鶏ガラと野菜をベースに鯛のうま味が効いています。保命酒の甘酒や

保命酒のどあめ、保命酒ジュレも人気です。保命酒の良さをほかの食材でより引き出し、飲みやすい商品を開発をしていきます。

### 鞆の浦の町並み

鞆の浦は最近、映画やドラマのロケ地などになり、全国へ向けて知名度が上がってきましたが、町並みは昔ながらの風情を残しています。今年10月に国の文化審議会から「重要伝統的建造物群保存地区(重伝建)」として認められました。江戸時代から昭和戦前の伝統的建造物が、300棟以上残っています。町へ住む人たちは温かく親切で、昔からさまざまな人々が行き交い異文化を受け入れてきたからか、寛容であるといえます。

次世代へと続く伝統を守り、かつ時代の変化に柔軟に対応していくことを考えています。地元の古き良き物や歴史を若い世代に広く知っていただき、次へつないでいきたいですね。



### 入江孝子氏 (いりえたかこ)

慶応義塾大学薬学部卒業。  
趣味:生け花、読書  
好きな言葉:こつこつ続ける

### (有)入江豊三郎本店

本社:福山市鞆町鞆534番地  
TEL:084-982-2013  
FAX:084-982-2015  
HP: <http://www.iriehonten.jp>  
創業:明治19年  
設立:昭和57年  
資本金:1000万円  
従業員:23人(パート・アルバイト含む)  
事業内容:保命酒・みりん醸造元・製造・販売

